

たんぽぽ

平成6年1月発行

第34号

兵庫県養父郡養父町砥畑82番地の28

森 医 院

〒667-01 電話(0796)65-0223

年賀状を書くため、少しカビ臭い硯箱を開き、年に一度の墨をする。こうしてまた新しい年が明けた。朝倉さんと事務長に迎えにお陰で診療に集中できるようになり、昨年は大過なく充実した一年であった。看護部門も新しい仲間が増え、みなさんに迷惑をおかけしていた看護婦不足も『これで一気に解消!!』といきたい。ところで患者さんの悩みもいろいろで、身体具合だけでなく夫や妻に対する注文や嫁への不満、果ては孫の進学の悩みまで聞かされる。大概のことには驚かなくなっているが、昨年の暮れ「米がない」と聞かされたときにはびっくりした。「農協に注文しても、もってきてくれない」と80歳にならんとする一人住まいの老婦人が困り顔でいう。この問題の中には食糧問題と人口の高齢化、過疎さらに不況と今の日本が抱える問題が含まれており、この上消費税でもアップされればこの老婦人はどんな気持ちであろう。



政府は来るべき高齢化社会に対処すべく『ゴールドプラン』という政策を打ちだし、それに基づいて、いま県や市町村で『老人保健福祉計画』が策定されている。そのうち皆さんもその内容をわかるようになると思うが、なかなか立派なもので、もし実行できればおおよそ現在のイギリスなみの福祉社会になるであろう。しかし残念ながらその財政的裏づけは全くない。ひょっとして政府はその財源を消費税に求めざるかもしれない。そうすれば高齢者のための政策を実行するため、高齢者を含む弱者からお金を巻き上げることになる。これではもう政治というものではなく悪徳高利貸しと同じである。せめて自民党にとって変わった細川政権。『強きをくじき弱きを助ける』そんな判官政治が今必要とされていると思う。少数の意見を葬りさる『小選挙区制』と弱者に負担を重くする『消費税率のアップ』に賛成できないのはこんな理由からである。

院長



胃透視のバリウム(造影剤)が変わりました。

～名称はバリコンミールです～

大・小の粒子を含んだ高濃度・高密度の液です。従来のバリウムに比べ少ない量の使用で粘膜面に均一に付着し、微細病変の検出に極めて有用となりました。又従来にも増した鮮明な画像が得られます。甘味もほどよく低粘性でのみやすくなりました。是非一度お味見を!!

職員紹介

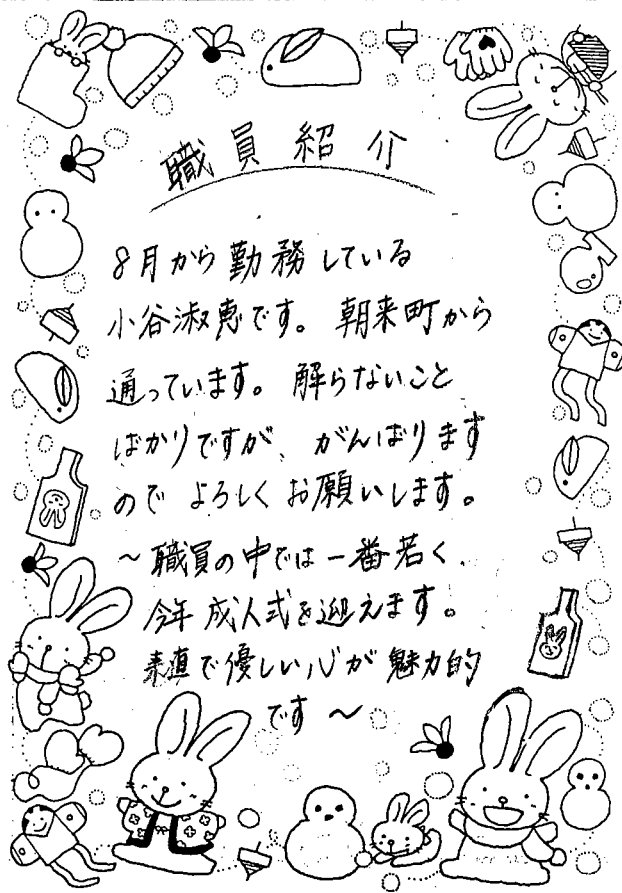
8月から勤務している小谷淑恵です。朝来町から通っています。解らないことばかりですが、がんばりますのでよろしくお願いいたします。
～職員の中では一番若く今年成人式を迎えます。素直で優しいびびが魅力的です～

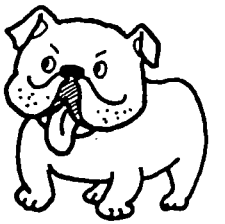
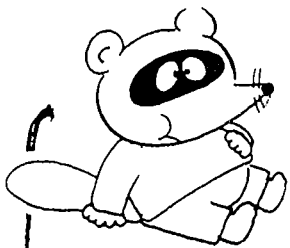
テレフォン・サービス

24時間いつでも3分間程度の開業医の手作り健康情報テープを流しています。
電話番号 0796-24-1800

'94年1月のテーマ

- 月、赤ちゃんの「しゃっくり」と「ゲップ」
- 火、歯の矯正の効用
- 水、成人の手首の骨折
- 木、体外受精のはなし
- 金、土、日 照明器具と目

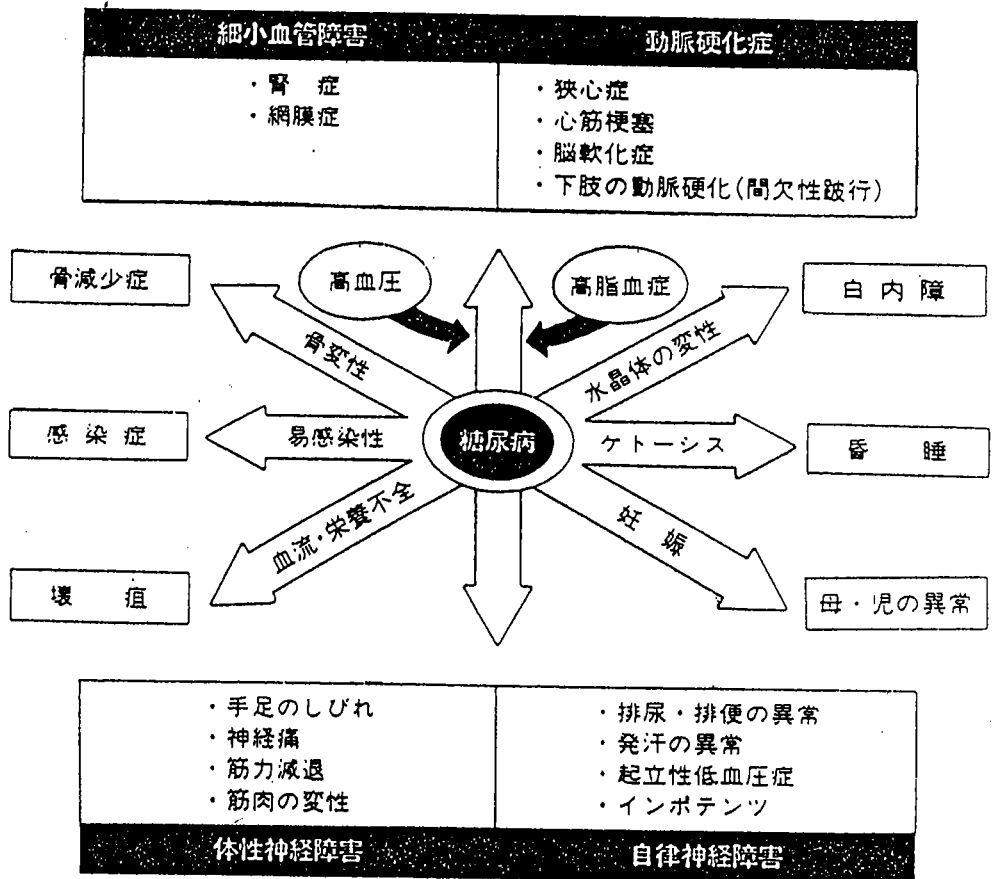




糖尿病にみられる合併症

近年糖尿病性合併症が増加しつつあります。ほとんど何の自覚症状もないままに進行していきま。それだけに健診等で高血糖といわれても精密検査を受けず放置する人もいます。しかし長い経過のうちに、さまざまな合併症や併発症をひき起こします。網膜の血管が破れ失明したり、脳や心臓、腎臓の血管が侵されると、生命の危機にさらされることもあります。

右に、この合併症・併存症を別に表わしました。



糖尿病にみられる合併症と併存症



ふれあいボックスより

待合室で横になりたい患者もあります。枕が欲しいと思います。

「という意見が出ました。体調が悪いと判断致し時、そういう方がありましたら、遠慮せず職員に声をかけて下さいね。」



編集後記

昨年は皇太子殿下の御成婚で国中が沸きました。早、新年を迎えてしまいました。今年も職員一同心新たにかんばりますのでよろしくお願ひします。たんぽぽは4月に発行予定です。今年も、お便りをお寄せ下さいね。

医師の志 謝して読む

たんぽぽに託す

患者の皆さん！皆さんは、森医院の発行下さるたんぽぽどんな気持ちで読んでいらっしゃるでしょうか。私は、六十才も後半を数うる女で、森医院の常連患者と言う程でもありませんが、孫が熱が出るとか風邪気味で咳が出るとか度々に森先生にお世話になります。都度頂いて帰るたんぽぽは、裏表一字ももらさず読ませて頂いて居ります。何故なれば、――当院の待合室ワケも湯杯の患者さんのようですが、連日大勢の診察で随分お疲れになるでしょう。一体いつお書きになるのだろうかと、病気の前兆、早期発見の御指導等々、細々と教えて下さる。こうした優しい先生の御心ほんとうに頭が下がります。最近電話の普及で、老若男女を問わず、書く綴ると言う事が全く忘れられてるのが実状です。お疲れの中、皆の為に書いて下さるお気持ちを感謝で受け止め大切に読み自分の身につけてまいらう。

Y.K

たんぽぽ誌に感動して！！

